

平成16年  
12月号

# 学校・地域・家庭を結ぶ情報誌 **Hannan Heart**

阪南小学校区教育協議会  
「はぐくみネット」  
広 報  
発行 是くみネット協議会

## 学校公開に多数来校

大阪市教育委員会

「個性が輝く学校づくり推進事業校」

研究発表会を阪南小学校で



十一月十九日(金)、阪南小学校において、個性が輝く学校づくり推進事業「研究発表会」の国語科研究発表会が開催されました。当日は、大阪市内外から一七〇名の先生方と三五〇名を超える保護者・地域の皆様、阪南小学校に集まりました。



公開授業では、大勢の参加者を前にしても聴することなく、一生から六年生までどの子ども、自らの思いや考えを自分なりの方法で豊かに表現していました。また、六年生全員のよる群読は、合唱を効果的に取り入れ、さすが阪南小の基礎学年という堂々とした発表でした。全体会では、プリの劇団員の方の読み

学校公開のご案内

本校では、個性が輝く学校づくり推進事業の一環として、十一月十九日(金)に「研究発表会」を開催いたします。当日は、大阪市内外から一七〇名の先生方と三五〇名を超える保護者・地域の皆様、本校に集まります。

公開授業では、大勢の参加者を前にしても聴することなく、一生から六年生までどの子ども、自らの思いや考えを自分なりの方法で豊かに表現していました。また、六年生全員のよる群読は、合唱を効果的に取り入れ、さすが阪南小の基礎学年という堂々とした発表でした。全体会では、プリの劇団員の方の読み

読みとサインオ  
リンネロの  
演奏で芥川龍  
之介の「蜘蛛  
の糸」も聞か  
せていただきます  
とても有意義  
な学校公開に  
なりました。

## 豊かな表現力をテーマにした研究の推進

阪南小学校 二年間の取組

自分の思いや願いを豊かに表現できる阪南児童を育てたいという教職員、一人一人の願いから、大阪市教育委員会二個性が輝く学校づくり推進事業(国語科)研究校として研究実践を深めてきました。

低・中・高学年毎に「聞く」「話す」「話し合う」学習活動のねらいを設定し、授業づくりの視点を確認してきました。

また、児童朝会の際に、詩の朗読や朗読の発表会をするなど、全校で「表現」へのモチベーションを高めてきました。

価値観が多様化する今日では、互いに育ち合う双方方向のコミュニケーションが大切です。今回の全学級公開授業や研究発表会を午かして、より豊かな学力の育成に努めていきたいと考えています。

## 『はぐくみネット』についてアンケートを実施

地域の皆様、保護者、教職員、児童 100名がアンケートに協力

はぐくみネットを知っていますか?

「知っている」とお答えになられた方

地域の皆様	62
保護者	63
学校の教職員	100
児童	29

阪南小学校区における「はぐくみネット」事業は今年で2年目を迎えました。しかしながら、学校・地域・家庭を結ぶ「架け橋」としての役割をどの程度担っているか不安が残っています。そこでアンケート調査を行い今後の活動の一助にすることを目的としました。

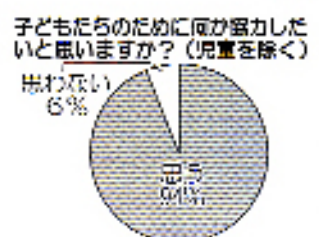
その結果、「はぐくみネット」を知っている

「はぐくみネット」を読んだことは?

「読んだことがある」とお答えになられた方

地域の皆様	36
保護者	63
学校の教職員	77
児童	20

と答えた方は、地域の皆様62%、保護者63%、教職員100%、児童29%であり、広報誌「Hannan Heart」で「はぐくみネット」があることを知った方が36%、63%、77%、20%でした。また、学校での子どもたちの状況を知らたいかどうか、教習内容を知らたいかどうかについては、保護者全員が知りたいために、地域の皆様のうち40%の方がどちらでもよいという答えでした。次に、学校やPTAでどんな行事が行われているか知っているかでは保護者81%、地域77%が知っている



はぐくみネットの活動に参加したいと思えますか?

思わない	63%
思う	37%

【調査対象】  
平成16年10月31日(日)、阪南ふれあいカニバルに参加した100名(地域の皆様29人、保護者16人、教職員13人、児童42人)



阪南ふれあいカニバルでの「はぐくみネット」展示コーナー